

平成 29 年 11 月 28 日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 福田正男

島田市議会議員 大石節雄

島田市議会議員 八木伸雄

島田市議会議員 横田川真人

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 29 年 11 月 25 日 (土)  
午前 午前  
午後 19 時 00 分から 午後 20 時 30 分まで
- 2 会場 川根地域交流センター
- 3 参加者数 24 人 (男性 23 人、女性 1 人)
- 4 役割
  - (1) 受付
  - (2) 司会 横田川真人
  - (3) 挨拶 (概要) 福田正男
  - (4) 報告 八木伸雄  
大石節雄
  - (5) 質疑答弁
  - (6) 記録 横田川真人

## 5 質疑事項・市等への要望事項

### (1) 意見及び情報の交換について

#### ①自主運行バスについて

概要説明・川根地区においてコミュニティバス（以下コミバス）は乗継の便がよくなり、病院等へ行くのに苦労している。また、乗車率も低く効率が悪い。大きなバスで1人しか乗っていないような状況もよくある。そこでワゴン車などで自主運行バスを取り入れることで効率もよくなり、行く場所も決めることができるので利便性もあがる。来年あたりから試行できればいいと思っている。

Q. 車、保険、ガソリン等は市で用意してくれると聞いている。NPOでぜひやってもらいたい。議会の後押しもお願いしたい。

A. 需要の調査やアンケートをしていただきたい。

#### 質疑応答

Q. Door to door で運行してもらいたい。

A. バス停まで行くのが大変だということは理解している。どのような形にできるかを考えるためにも需要調査が必要である。

Q. 利用したい人の調査をしてみたい。調査をしてみてから見つかる課題も出てくると思う。地元でも努力してみたい。

A. なし

Q. 外出支援事業のデマンド型が評判いい。こういったものを参考にできないか。

A. 自主運行バスはそれを参考にしている。自主運行バスの方が自由度の高い運行方法だと考えている。

#### ②移住定住促進について

概要説明・少子高齢化のなかでどのようにして選ばれる地域になるか。川根では子育て支援住宅チャイルドがある。チャイルドを出た後で川根に住んでいただくには自由にできる土地がない。都市部からも川根に住みたいという人がいるが、マッチングがむずかしい。住みたくないのではなく、その需要にこたえられないだけである。

#### 質疑応答

Q. 空き家はリフォームだけでは無理なところが多い。ほとんどが使えない。NPOを立ち上げて空き家のチェックなど進めたい。

A. 市ではリフォームに50万円の補助。県外からの移住に110万円の補助がある。まちづくり川根の会がNPOとして間に入っている。

A. 地域おこし協力隊が2人いる。この地域は全国へ発信できる魅力ある土地であるがPRがまだまだでは。移住体験や市外の人への声掛けをやってはいいかがか。

Q. 川根本町の地域おこし協力隊は女性で、事業が終わった後に結婚して定住していると聞いた。島田も女性の地域おこし協力隊を募集してほしい。

A. なし

Q. 体験宿泊をしているが、その結果は聞いているか。

A. 体験を楽しんでいただいたが、そのあと移住するというようなところまでは聞いていない。

Q. 現在、住んでいる人を外に出さないことが大事。移住者が来てくれることはいいが、コミュニティにちゃんととけこんでくれる人でなければ、まわりに悪影響になる。コミュニティの崩壊にならないようにしてほしい。

A. チャイルドがその条件でやっている。

Q. 地域がどういうところなのかの情報を提供していくことが大切ではないか。

A. 実際に住んでみてこんなところだと思わなかったと思われぬように地域の風習やインフラの状況などを情報提供することは大切だと思う。

#### その他要望等

- ・国道473号の石風呂、葛籠の改良をしてほしい。
- ・川根中学校から島田に向かう坂の300メートルほどのところの直角カーブを改良してほしい。
- ・川口発電所前の県道の拡幅をしてほしい。
- ・大河原事業前の道路の拡幅をしてほしい。
- ・トヅル沢堰堤の倒木を片づけてほしい。
- ・抜里保育園跡地がさら地であるが、雨が降ったら池のようになってしまった。市も業者も対応してくれなかったので、自治会で25万円ほどだして土をいれた。しっかりとした対応をしてほしかった。
- ・消火栓を防災訓練でつかってはいけないと言われた。実際に使わないと訓練にならない。使わせていただきたい。
- ・お茶の振興として、産地賞などに出品しやすくするために支援がほしい。生産サイドのバックアップがほしい。

#### 6 周知方法について（会場ごとにどのような工夫をしたか）

地元関係者へのチラシの配布。

## 7 まとめ（所見）

川根で20名以上きていただいたのはよかったことだと思う。各町内会の役員の方が多かった。抜里だけでなく、家山や葛籠の方からも来ていただいたので川根地域全体のことや、川根につながる道路のことといった、幅広い議論ができた。テーマを決めることで、その分野に興味のある方が来てくれるので、やり方としてよいのではないかと思う。議員の数が今回は4人であったが、もう1人くらいいると役割を分けるのにやりやすいと感じた。